

建長五年四月二十八日は 宗旨建立にあらず

廣 田 頼 道

先回の芝川16号は、平成十一年八月十五日に発行した。毎号、大石寺側の僧侶、創価学会側の僧侶、正信会の僧侶、信者さん、一般の人々へ配布しているわけでありますから、毎回、色々な人から賛成、反対、頂いたという礼状を頂く。

その中で、先回、花野充道師から、礼状と共に「道、心17号」を送って頂いた。

日蓮正宗の未来を真剣に考えて、自分の意見や研究を自由に発表できる同人誌を作ろうという話がまとまり、この『道、心』が発刊されました。

という主旨が誌面の最後に示されていた。

発表は自由だが、内容は不自由だと思った。戒壇本尊絶対。貫主絶対の大石寺の中にあつて、どれほど研鑽し、議論した所で、結論をそこに持つて行か

なければ、異端、異流義として葬られるだけのことでしかない、全体を読んで感じた。

誠にならない程度に、押したり引いたり、バランスを取り乍、大石寺の良識、自分達は違うんだという自己満足の綱渡りで発刊して行くしかないのだろうと思つた。

今回の「芝川」17号の

正信会への提言(七)

の中で、鷹尾さんも改めて言っているのだが、私は、一九九五年の「芝川」12号の

「富士門流の血脈観」

と題した文章の27Pに

建長五年四月二十八日を『宗旨建立』と称する愚を、富士門流は速やかに改めるべきであります。

ということを述べたのであります。また、この点を真剣に考えることもなく、送つて頂いた「道心」の160Pに、榎木境道師の

宗旨建立会法話

「自行化他の題目」

という文章の中で、

「宗旨」という言葉の意味ですが、そもそも大聖人様がどのような教えを弘めるのか、その教えの根幹を意味します。教えの根幹、つまりどのような教法をもつて末法の衆生を救わんとされているのか、それを一言で言えば三大秘法です。そこで大聖人の宗旨と言えば三大秘法に尽きるのでございます。

本門の本尊・本門の戒壇・本門の題目が三大秘法ですが、この三つも、合すれば本門の本尊の一大秘法に極まります。すなわち本門の本尊に戒壇も題目も具わるのでございますが、開けば三大秘法、さらに開けば六大秘法、八万宝蔵というようにして、無量の法門に開かれていきます。他の宗派ですと、八万宝蔵の部分部分を思い思いに取り出して、それが有り難いといつて宗旨としているのでございますが、仏の出世の本懐のなんたるかを知らない人たちがございませぬ。

身延日蓮宗にあつては、宗旨建立とは言わず、立教開宗とのみいっております。最近では三大秘法が大事であるというようなことを言っておりますが、しかしこれまでは三大秘法に対してあまり重んじてこなかった歴史がありましたので、なかなか宗旨建

立とはいえないのかもしれませんが。

こういう主張がされていた。この類の主張は、榎木境道師だけがしているのではなく、大石寺の貫主を筆頭に全ての人がその様に考えている状態なのであります。

重ねてになります。前にあげた「芝川」12号の私の文章をそのままここに載せます。

近年、いつ頃か、建長五年四月廿八日を、宗旨建立会と称していますが、四月廿八日は法華経の南無妙法蓮華経を中心に据えたという意味の、あくまでも立教開宗であつて、四月廿八日に、宗旨の建立はされていないのであります。もしこの日を宗旨というならば、真言宗批判もしていない。天台宗批判もしていない。本尊も表わしていない。法華身読もしていない。師弟一箇すべき弟子もいないで、宗旨を建立したということになつてしまします。その上、他の日蓮宗も、この日を宗旨建立と称してはいますが、他の日蓮宗系と富士門の宗旨は同じだということになります。富士門の宗旨は弘安二年、それもこの年に限定されて勃発したと理解される熱原法難ではな

く、日興上人が四十九院を出られた弘長元年より、四十九院、実相寺に縁する人々に折伏教化して来た、その結果に表面化したものが宗旨の建立である。弘安二年ということなのであります。日興上人は、日蓮大聖人のこの宗旨を守らんが為に、身延を離山されたのであります。建長五年四月二十八日を『宗旨建立』と称する愚を、富士門流は、速やかに改めるべきであります。

榎木境道師は

大聖人の宗旨は三大秘法に尽きる

と示してあります。

建長五年四月二十八日の時点で三大秘法が建立されているのでしようか。

日蓮正宗は近年、自分達の宗旨がどこに立てられているのかも理解出来ないで日蓮正宗という名前を名乗っているのであります。日蓮正宗の日蓮正宗たる由縁が分つていないのであります。

自分達の宗旨が何かも分らなければ、自分達がどの様に信仰の志を立て、何を目的に精進していけば良いのかも分るはずがないのであります。

3 日蓮正宗の今日の混乱は、結局の所、宗旨がどこにあるのか分らないことが原因であるということにつきると思います。

今回改めてこの点を総ての方に真剣に考えて頂きたいと思います、

建長五年四月二十八日は宗旨建立にあらずという題名で、一文を起した次第であります。御意見を御待ちします。

「日蓮正宗の今日」の混乱は、結局の所、宗旨がどこにあるのか分らないことが原因であるということにつきると思います。今回改めてこの点を総ての方に真剣に考えて頂きたいと思います、

建長五年四月二十八日は宗旨建立にあらずという題名で、一文を起した次第であります。御意見を御待ちします。